

ナンバリング	科目名	サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
122AS02	経済学 B	経済学の考え方を身につける	高橋 真悟	1 年次後期	2
科目区分	基礎	キーワード	家計（消費者）の行動・企業（生産者）の行動・価格の決まり方		
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力			
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力を総合的に身につける			
事前に受講するとよい科目		特になし			
オフィスアワー		火・金（時間は応相談）または授業後			
教員への連絡方法		教員の短大メールアドレス			
講義の目的	経済学 B では、経済学 A に引き続き、経済を構成する家計（消費者）や企業（生産者）の行動、または市場における価格メカニズムなどを扱う経済理論の考え方を学ぶことを目的とします。				
到達目標	この講義を通じて、日常生活に溢れる経済学的要素を身につけると同時に、企業がどのようなことを考えながら企業活動を行っているかを理解できるようにします。これに加えて経済学 B では、金融危機と人々の経済活動や鉄道に関する経済学が理解できるようになることを到達目標とします。				
講義内容	経済活動はモノやサービスをつくって売り、それらを消費する一連の活動を指します。経済学 B では、経済学 A に引き続き、楽しみながら経済学を学んでいきます。前半は企業と消費者に関する内容を金融危機（リーマンショック）の内容も入れながら学習していきます。学期の最後の方では、鉄道の経済学を 2 回に分けて学習します。なお、必要なキーワードは授業で毎回説明するので、経済学 A を受講していなくても問題ありません。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第 1 講	オリエンテーション	授業概要・運営方法の説明・インセンティブ等（一部）		
	第 2 講	金融危機と経済主体（1）	インセンティブ、モラルハザード、逆選択とは		
	第 3 講	金融危機と経済主体（2）	囚人のジレンマとは		
	第 4 講	企業と消費者（1）	ロックインとは		
	第 5 講	企業と消費者（2）	コミットメントとは		
	第 6 講	企業と消費者（3）	ヴェブレン効果とは		
	第 7 講	企業と消費者（4）	心の会計とは		
	第 8 講	現代の企業活動（1）	スクリーニングとは		
	第 9 講	現代の企業活動（2）	オークション（勝者の呪い）とは		
	第 10 講	現代の企業活動（3）	レントシーキングとは		
	第 11 講	現代の企業活動（4）	規模の経済性とは		
	第 12 講	鉄道の経済学（1）	価格差別・機会費用とは		
	第 13 講	鉄道の経済学（2）	本源的需要・派生需要とは		
	第 14 講	総復習（1）	キーワードの復習		
第 15 講	総復習（2）	その他の復習			
指導方法	講義はプリントを中心にいきます。また、毎回授業内課題として映像資料を踏まえた問題（選択式と論述式の両方）に取り組んでもらいます。				
事前学習	次回扱うキーワードがどのようなものをインターネットや書籍で調べ、具体的な例を考えてみてください（1 時間半程度）。				
事後学習	授業プリントを一通り読み直した後、キーワードの定義を言えるようにしてください。これとは別に、前の回でやった課題（選択式と論述式）を間違えたところを中心に解き直してください（1 時間半程度）。				
成績評価方法	本試験（筆記試験）50%、平常点（授業内課題）50%				
課題（試験・レポート）に対するフィードバックの方法	授業内で解説をします。				
テキスト	特になし。毎回プリントを配布します。				
参考文献	吉本佳生・NHK「出社が楽しい経済学」制作班編『出社が楽しい経済学 2』NHK 出版、2009 年。				
実務家教員による授業	教員	経歴			
特記事項	他の学生の迷惑になるので私語をしないこと。授業中は PC・スマホを使用しないこと。また、授業中勝手に離席しないこと。				